

平成30年9月18日

各家族会 会長各位

岐阜県精神保健福祉会連合会

理事長 山田偉雄

ぎふかれん情報 9月号

第2回理事会（8月24日開催）以降のぎふかれん情報をお送りします。
やっと秋らしくなり、朝・夕過ごしやすくなりましたが、皆様にはご健勝のことと拝察いたします。

平成30年度 甲州・東海ブロック 高山大会 カウントダウン 2ヶ月を切りました

全会員の行事として頑張りましょう！！

○進捗状況

- ・各圏域毎に事業所・病院・関連業者・知人等へ精力的に広告募集に回っています。いずれも協力的でした。目標額達成に努力しています。
- ・チラシ・研修会申し込み書を各県連に希望数配布しました。
- ・ぎふかれん傘下の各家族会、事業所、県行政機関等に同配布。
- ・今後、市町村・保健所等に配布。チラシが必要な家族会がありましたら申し出てください。

研修会の申し込み書は 締め切りが9月28日になっています。

お早めに願います。

- ・高山大会初日・2日目に、会場準備が必要です。多数の方お手伝い下さい。
- ・今後、当日の資料作り、講演者の手配、会場準備など多忙な業務になってきます。大会準備を最優先に行いますので宜しくお願いします。大会を成功させるためにも、ご協力の程お願いします。

○社会参加推進協議会 報告

平成30年度障害者社会参加推進センター要望・意見交換会

8月29日（水） 県水産会館

平成30年7月31日に 3障害合同部会で県・国への要望課題を提出しました。その回答を兼ね、県庁の担当課の職員の方々と意見交換会を実施しました。

出席は、関係団体・行政職員等約60名。 当ぎふかれんからは山田・西村・久保（かけはし西岐阜）の3名が出席しました。

<当連合会>としては、

1. 親亡き後、安心して暮らせる環境整備、支援体制の強化
 - ・福祉施策の障がい者家族への十分な説明・摘要
 - ・住まいの確保・グループホームの整備促進・訪問医療・訪問看護回答：総合支援で実情に応じ相談支援で努力していく。
2. 高次機能性障がい者に対する特化した支援センターの設置要望

- 回答：全国調査し岐阜県に適した対策を実施していきたい。
との、十分な回答は得られなかった。具体的な課題が重要か？。
かけはし西岐阜から出された課題、一応県に重要性は認識されたと思う。
- なお、精神障がい者作業所交流会から
- ・精神障がい者の地域での受け皿施設整備のための、大規模改修工事の補助額の増額を
回答：グループホームの建屋対策として増額を要望している。
 - ・3障害一元化を言われながら、未だ遅れている精神障がい者の交通費補助の支援要望
回答：事業者の自主的な運営なので難しい。
- など、正式な形で解答書の配布要請がだされたので、後日連絡があるものと思う。
国会議員との懇談は、また開催されると思う（未定）。

甲州・東海ブロック 5 県連会議 報告

日時：平成30年9月7日（金）13：00～16：00

場所：静岡県浜松市 浜松市福祉交流センター

参加者：愛知県（木全氏：みんなねっと副理事長・高柳氏）・三重県（川北氏：事務局長）・山梨県（佐久間氏）・静岡県（杉本氏・赤池氏：事務局長）・岐阜県（山田）

議事

1. みんなねっとの動向
 - みんなねっと第4回代表理事会の報告 抜粋
組織・運動関連 担当
 - ・統括責任者 事務局長
総務領域責任者（小幡）：事務局長
事業領域責任者（桶谷）：事務局長補佐
コンポからの移籍（全家連時代から勤務分裂後コンポへ）63歳
 - ・財務関連担当（松本） ・会員管理担当（丸山） ・庶務担当（山本）
 - ・主要業務担当
野村：相談・編集委員長
桶谷：家族学習会・フォーラム・広報宣伝
山本：ピアサポ、全国大会B研修会

自治体における意見書採択状況の把握 → 把握状況を一覧で配信希望（現在は昨年3月までしか把握されていない）。各県連は、現在の状況を至急報告のこと。

- ・石川県からの職員派遣要請
- ・単会からの要請は受け付けない。県連を通じての要請であれば検討する。
- ・同様に単会からの寄稿には応じない。

議案

- ・山口県連脱退問題 進展はあまりない。中国ブロックから現地に足を運ぶ、みんなネットからは木全氏を担当に配し、山口県庁を訪問、その後今後を計画。現会長は10年間県連の実態は無し。作業所運営のための会長を独占。
- ・障害年金認定期間に関するWEBアンケート
「障害年金認定期間の短縮傾向に関するデータ」はないかとの白石社労士よりの問い合わせ（2～5年とされているが、短縮傾向にある）。青木理事はそのデータは公表されないであろうとの見解。WEBアンケートで調査する。
- ・被災地対策 みんなねっと独自の募金でその使途等に限界、今後他団体が共同運用し

- ている基金（あみ、コンポ）に今後合流することを検討する。
- ・みんなねっとフォーラムのテーマ 「地域で精神障がい者が豊かに暮らせる条件づくり」
木全さんより報告あり。
 - 2. 高山ブロック大会について 山田から進捗状況と申込書、発表者等へのお願いを別紙資料で説明（省略）。
 - 3. 愛知（全国）大会について
第12回みんなねっと大会
時期：2019年11月7・8日実施 場所：刈谷市産業振興センター
7日 記念講演：名大の尾崎のりお先生（先進医療・遺伝子工学）
特別講演：検討中 新潟県の田宮病院の渡部先生（愛知県から新潟県へ）、先生を中心とした家族会（愛知）がある。1年前に「みんなねっと」に取り上げられている。「医療入院ではなく教育入院」と唱える先生。
8日 分科会 課題がマンネリ化している。出来る限りマンネリ化を打破する課題を検討したい。提案があれば受け付ける。
準備委員会を今年4月に開催。事務局長、財政委員長、県家連会長の3名を軸に進める。「愛知から世界先進国へ精神福祉を進めよう（課題）」
 - 4. JR等公共運賃割引運動について 愛知県高柳氏
各県市町村からの意見書の取り組み状況 静岡県：全市町村完了 愛知県：かなり進んでいる。三重県：進んでいる。岐阜県：市町村は一部、9月会議で予定。山梨：県からもだしていない。木全氏から早急な提出要請あり。
JR東海への交渉を始めたい。要請文の修正をお願いしたい（メールで配信）。
JR東海・名鉄：愛知県・岐阜県・静岡県が担当 三重県はJR西日本・近鉄
山梨県はJR東日本に入る。
愛知・岐阜・静岡で9月中にまとめJRとの交渉に入りたい。
 - 5. 5県近況
三重県：三家連精神保健福祉大会 6月28日に志摩市で開催 465名の参加
事業所（132名）・一般（99名）・スタッフ（85名）・民生委員（66名）・家族会（49名）
来賓（18名）行政（16名）の参加 特に民生委員の参加に努力。
予算は60万円：3市から30万円、共同募金から10万円。
内容は「地域で地域の人とともに暮らしたい」のテーマ
講演：講師 青木聖久氏 「草花と向日葵」の他に
落語講演 露の眞さん（みえ発こころのバリアフリー大使）を入れたのが斬新。
高山大会へは、バスで25名？程度。
- 静岡県：
- ・藤枝家族会（静岡県連では有力な家族会）の村田みき氏（元県連会長・元全家連副会長）が逝去。
事業所3ヶ所、事業所と家族会の会長として超人的な活躍をされた方。
 - ・県大会を予定。夏苺・高森両先生を講師に。
 - ・高山大会への参加 バスの乗客を求めている。
- 山梨県：障がい者の窓口無料の制度が償還払い（申請して返金）方式に後退。
福祉協会と共に窓口無料化運動を進める。

その他 「夜明け前」 呉秀三と無名の精神障がい者の100年 上映：1時間
今井監督は、岐阜県下呂市出身
きょうされん40周年記念 ドキュメンタリー 2018年
興味があれば、きょうされんへ問い合わせ。

関連

JR運賃割引の具体的な交渉について

あいかれんの高柳会長から、JR、名鉄電車との交渉のための文書の修正等がEメールで届き、一部修正して提出しました。できる限り早い段階でJR東海との交渉をはじめめる予定になっています。

○平成30年度「第1回岐阜県障害者施策推進協議会」 報告

平成30年9月13日(木) 県水産会館にて (山田出席)

第2期 岐阜県障がい者総合支援プラン(平成30年3月 発行)が作られ、その説明と、各団体・有識者からの意見聴取の会議であった。結果は、岐阜県から正式に提示されるので、発言内容等は今回割愛する。資料等で説明された部分のみを報告します。

(1) 岐阜県障がい者総合支援プランの取り組み実績について

平成27～29年の3カ年の総合支援プランを総括し 第2期岐阜県障がい者総合支援プランの策定を行った。

- ・取り組み実績 36項目について、目標値の達成率でA・B・C・等5段階評価で表示。

A(進捗率80%以上) ノンステップバス、手話通訳者要請、非難行動支援者名簿作成市町村、災害福祉広域ネットワーク、介護福祉士修学資金貸し付け利用者

特別支援学校の整備、働きたい・応援団ぎふの登録企業数、福祉施設からの一般施設の移行、難病ホームヘルパーの養成、福祉施設の入所者の地域生活への移行、入院中の精神障がい者の地域への移行、など。

就労継続支援B型作業所の工賃はD(達成率20～40%)など。

1. 安心して暮らせる社会環境作り

平成30年度新規事業 ・福祉の仕事普及啓発(小・中・高校生向けの新聞発行)

- ・パーキング・パミット制度(身体障害者用の駐車場利用許可証)の推進
- ・手話言語の普及及び意思疎通手段の利用促進の各種取り組み。

2. 社会参加を進める支援の充実 新規事業の一部のみ記載。

- ・発達障害専門支援員の派遣(通常学級)
- ・農福連携推進室を農畜産公社に設置
- ・県障がい者芸術文化支援センターの開設。

3. 日常生活を支える福祉の充実

ピアサポーターの登録 事業所より要望：現在ピアサポーターの養成は事業所で行っている、他の県では県独自で養成し、登録している。県の養成を希望。

4. 質の高い保健・医療提供体制の整備 新規事業の一部

- ・健康ポイント事業・健康経営推進事業 ポイント化し特典を与える。
- ・野菜ファーストプロジェクト 野菜摂取量全国1位を目指す。
- ・療育支援体制の強化 保育士雇用の経費支援 キャリアアップ研修
- ・発達障がい専門外来の充実 大垣病院・養南病院に専門外来を開設

29年度の実績を踏まえ、32年度の計画数値を設定し、プランが立てられる。

久保田副理事長の退任届提出

第2回理事会（8月24日金）の終了後28日（金）付けで、
県家族会副理事長職及び県家連全ての役職の退任届が提出されました。
提出された退任届の内容の概要は次のようです。

先般の理事会（8/24）において、私の指摘する今後の県家連事業活動と県家連会計及び育成会会計について議論されたが、現状維持を望む結論に終わりました。

そうした県家連運営に、理念・信条の違う私が参加して意見の対立が続くことは、県家連運営や、各々の事業所運営に支障をきたすと考え、退任届となりました。

記

1. 退任届 久保田正司の副理事長及び県家連の全役職を9月1日付けで退任する。
(以下省略)

2. 会計対応 前田幸恵 9月1日付けで中止する件

理由：理事会提出説明書とおり。

9月30日までに後任を早急に選定し、引継ぎを進めてほしい。後任者の引継ぎは9月30日以降でも可。高山大会への参加は未定。

要旨は以上のようなものでした。(原文は事務局に保管されています)

唐突に提出されたので、困惑し一応受け取っておきますと対応。何とか高山大会までは対応してもらえないかとも伝えましたが、また、副理事長の代わりの方を見つけてほしいとも言いました。

定款によれば、副理事長は4名となっています。変わるとすれば臨時理事会の開催が必要。また、各圏域に一人の副理事は難しくなっており、定款の変更も必要か？など検討が必要。大会を迎えて現在はとても対応は無理。今年度は、この体制（代わりの副理事長が出れば代理で、愛知県では、前年度終盤はこの体制であった）をも考えていますが、幹事会で検討したいと思います。

なお、先般の理事会で庶務・会計の後任を探すことが決まり、一人ボランティアで来てほしいとの方、また、ハローワークへも求人を出しています。

決まりましたら報告いたします。

9月以降の計画

月	日	行 事	場 所	対 応 者
9	7(金)	甲州・東海ブロック会議	浜松市	山田
	13(木)	第1回岐阜県障害者 施策推進 会議	水産会館	山田
	24(月)	障がい者スポーツ秋期大会	長良川競技場	山田
	29(土)	年輪ピック実行委員会	メモリアルセンター	山田(欠)
10	1(月) 7(日)	共同募金の街頭募金動員	JRぎふ駅前	児玉 服部・筒井・中村
10	12(金)	ブロック高山大会 計画担当者 会議	高山市	計画担当者

11	1(金)	こころの健康フェスティバル		
	9(金) 10(土)	甲州・東海ブロック高山大会	高山市	
	22(木)	サイコロリンピック	メモリアルセンター	
	26(月) 27(火)	みんなねっと全国大会	神戸市	
12	22(土)	講演会（講師：野村忠良氏）	岐阜駅ハートフルスクエア G	